

令和元年度第1回豊明市地域福祉計画推進委員会

豊明市いのち支える自殺対策推進本部 議事録

令和元年5月27日（月）

午前10時00分から

豊明市役所 東館1階 会議室6

1 あいさつ

委員長よりあいさつ。前回会議の内容を確認。

2 議事

(1) 「豊明市いのち支える計画」について

事務局より、計画内容及び今後の推進について説明。

○ 質疑応答

(委員)

本計画の見直しは年1回ですか。

(事務局)

必要な見直しや進捗の報告を年1回行います。見直しは来年5月に地域福祉計画策定委員会の開催と合わせて行う予定です。

(委員)

ゲートキーパー養成の研修を市民講座で実施されるならば参加したいのですが今後開催する予定はありますか。

(事務局)

自殺対策を支える人材の育成策の一つとして、「区長・町内会長にゲートキーパー研修を受講してもらうことで、地元の身近な相談役としての役割を担えるように努めます」としました。

学校教育者向けの研修についても、学校教育に関わる人への啓発をあげています。今後どのように実施していくのかは不透明な部分もありますが、市としては多くの方に受講していただけるようにと考えています。

(2) 第2次豊明市地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画基本事項（案）について

(3) 地域福祉に関するアンケート調査（案）について

(4) 第2次豊明市地域福祉計画策定スケジュールについて

事務局より、それぞれの概要について説明。

○ 質疑応答

(委員)

プロポーザルを行ったとのことですが、何社の応募があったのですか。

(事務局)

2社より応募があり、プロポーザルの結果、ジャパンインターナショナル総合研究所に決定しました。

(委員)

今回は選定項目の中に、応募した会社の意欲を見る項目があったのですが、数値化できない選定方法は透明性がないと思います。都市計画マスタープランでは数値化して公表しているので、その点については今後、再考をお願いします。

(委員)

アンケート調査の対象者が2,000名ですが、回収率はどの程度を想定していますか。

(事務局)

回収率についてですが、「民生委員・児童委員用」は直接アンケート調査票をお渡しし直接回収するので、100%の回収率を目指しています。「一般用」は無作為抽出で郵送配布・郵送回収です。

前回実施した本計画のアンケート調査の回収率は54.9%であり、有効回収率が54.6%でした。今回も同等程度の回収率を見込んでいます。前回の調査の際も2,000名で実施しており、前回調査との比較ができるような項目もいくつか設定しました。

(委員)

対象は2,000名で1,000件の回収を期待しているということですが、この2,000名の無作為抽出はどのように抽出するのですか。

(事務局)

住民基本台帳から抽出します。

(委員)

一人暮らしの視覚障がい者は回答を行うことができないので、聴き取りが必要になります。そのような場合は事務局ではどのように対応するのですか。

(事務局)

現段階では聴き取り調査は検討しておりませんが、質問等があった場合は電話での対応を考えています。

(委員)

数値的な結果に反映させなくてもよいので、視覚障がいを持っている人がアンケート調査にご協力をいただけるということでしたら何かしらの対応をしていただきたいと思います。

(事務局)

プロポーザルの意欲の評価基準について補足説明をさせていただきます。評価項目については9項目を設定しました。基本的な考え方、現状把握、企画ポイント1として、独自性、企画ポイント2として、効果的な提案・スケジュール・業務体制・研究員の体制、業務体制、個人情報や機密情報の管理、実績と適正価格です。このような項目について

は、財務課が示しましたガイドラインに基づき事務局である程度設定をし、今後の結果については公表する予定をしています。意欲も大切ですが、意欲以外にも「いかに効果的で豊明市にとってメリットのある計画が決められた予算のなかで設定できるか」を重点に置いていますので、それを踏まえた9項目とさせていただきます。意欲についてはジャパンインターナショナル総合研究所からも熱心なプレゼンテーションをしていただき、総合的に判断し、決定させていただきます。あくまでも客観的かつ多面的な評価により審査させていただきます。審査委員については、本推進委員会の委員長、今回は社会福祉協議会の地域福祉活動計画と合わせて策定する形となったので、社会福祉協議会の事務局長と健康福祉部長、社会福祉課長で審査を行いました。

(委員)

アンケート調査を見ると、回答の選択肢が多いので、簡素化していただきたいです。設問によっては選択肢が12項目あります。選択肢が多くあると高齢者は回答に迷ってしまうので、回答がしやすいように配慮をお願いします。

(事務局)

地域福祉の現状・課題が深く分かるのではという意図で細かい区切りで選択肢を設定しているものもあります。選択肢の内容については精査し、なるべく簡素化するという方向で検討をすすめます。

(委員)

アンケート調査票の設問設計として、仮説(現時点)という表記欄があるのですが、各項目内容が仮説として、適切ではない内容も含まれているようです。

(事務局)

「仮説ならびに把握したい事項」という意味で捉えていただければと思います。誤解を招く表記になっており申し訳ありません。

(委員)

アンケート設問に「福祉サービスの水準を維持していくためには、税や社会保険料などの負担増が必要になると思われます」とありますので、地域福祉の支え合いに対する計画を立てているので表現に配慮をお願いしたいです。

(事務局)

設問の主旨としては、「福祉サービスの水準と費用負担の還元についてどのように考えているか」です。これを主にして文章を改めます。

○それぞれの案について承認

3 その他

次回は9月中旬に開催予定。

- ・計画骨子案の検討
- ・アンケート調査結果の報告